

-----8月4日-----

※ 今週のアウトルック (8/4~8/8)

先週は米国マクロ指数発表の影響を大きく受けた週でした。  
水曜日に発表された、米国GDPの好結果などを受けて、ドル買いが一気に進みましたが、週末の米国雇用統計発表が予想を下回る数字だったため、ドル買い加熱は、ある程度冷やされて週末を迎えています。

今週も、ユーロの先行き不安感と、米国の景気先行き見通しの綱引きとなりそうです。

先週のドル円は、GDPなどの好結果を受けて、一気に103円近くまでドル高が進みましたが、その後雇用統計などの数字が予想を下回ったため、102.6円付近で週末を迎えています。

今週は週初、雇用統計の反動をある程度受けそうですが、売り一巡後、再び103円超えを狙いに行く可能性もありそうです。

米ドル円の予想レンジは102円から103.5円です。

ユーロは、ユーロドルがテクニカル的には1.34付近で底値をつけて、折り返した形となっています。

ただ、このまま上昇に向かう可能性は、それほど高くないように思います。

ユーロ圏の地政学的リスクや、景気の先行き不安感は、これからまだ大きくなっていく可能性が高いように思います。

ユーロ円の予想レンジは136.5円から138.5円です。

ポンドは、ポンドドルが完全に下落トレンド入りしてしまったようです。  
1.67付近まで下落する可能性が高いように思います。

ポンド円の予想レンジは171円から174円です。

今週は資金の逃避先がドルなのか円なのか、模索するような展開に、なってしまうかもしれません。

\*免責事項\*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。